



## 市民とつくる男女共同参画社会

～第1回男女共同参画社会づくり市民検討委員会～

市は、男女共同参画社会の実現を目指し、市民の方の意見を反映させながら『登別市男女共同参画計画』を策定するため、『男女共同参画社会づくり市民検討委員会』を発足し、12月11日(火)、初めての検討委員会を開催しました。

登別市男女共同参画計画とは、男女共同参画社会をつくるための基本的な考えや目標、取り組みなどを記すもので、のぼりべつ男女共同参画懇話会などの団体の代表10人と一般公募の方5人の計15人（男性6人、女性9人）で構成される同検討委員会と協議しながら計画策定を進めます。

この日は、同検討委員会の会長・副会長の選出が行われ、登別市男女共同参画プラン推進協議会の金澤水江さんが会長に、登別市校長会の佐藤輝彦さんが副会長に選ばれました。

今後は、市が作成した『男女共同参画計画の骨子（素案）』を基に、計画策定の基本的な考え方や施策の直接的な取り組みについて二つの部会に分かれて論議し、検討委員会にその意見を持ち寄って、協議しながら最終意見を取りまとめ、今年6月に計画を策定する予定です。

## 親子で“ものづくり”を楽しむ ～冬休み工作教室～



1月9日(木)と10日(金)の2日間、文化伝承館で郷土資料館主催による『冬休み工作教室』が開催され、親子55人が参加しました。

参加者は、同館ボランティアグループSLGのメンバーのアドバイスを受けながら、草木染めの毛糸でコースターを作る『はた織り体験』、普段使い慣れないのこぎりやかなづちなどを使っての『本立てづくり』や『木製パズルづくり』を行いました。

協力し合って作品を作っているみなさんの表情は生き生きとし、できあがった作品を満足して持ち帰っていました。

## クラシカルセンターに美しい音色 ～ハンドベルコンサート～

12月18日(火)、クラシカルセンターでハンドベルコンサートが行われました。

このコンサートは、クラシカルセンターを拠点に、リサイクルの啓発活動などを進めている登別環づくり市民委員会が、ハンドベルの美しい音色を聞いてもらおうと開催したもので、この日は、文化女子大学室蘭短期大学ハンドベル・クワイアの部員16人が演奏しました。

色とりどりの照明やクリスマスツリーなどが飾られた会場には、「天使のハーモニー」と呼ばれるハンドベルの美しい音色が響きわたり、訪れた150人の市民は、慌ただしい師走を忘れ、うっとり聞き入っていました。



## 心潤す優しい歌声

ばいしほちえい こワイズ ころぐれいじろう ソング アンド トーク  
～倍賞千恵子With小六禮次郎 Song & Talk～



映画『男はつらいよ』の『さくら』役で知られる女優・倍賞千恵子さんとご主人で作曲家の小六禮次郎さんによる『倍賞千恵子With小六禮次郎 Song&Talk』が12月14日(金)、市民会館で開催され、約650の方が訪れました。

白いセーターに黒のロングスカートといういでたちでステップを踏むように登場した倍賞さんは、「小さいころから歌と踊りが大好きで、よく歌ってました。姉と一緒に出場したNHKのど自慢で優勝したことで、ますます歌や踊りをやりたいという思いが強まり、松竹音楽舞踏学校へ進みました」と、デビューまでのエピソードなどを披露しました。

また、小六さんのピアノの伴奏で『下町の太陽』や『さよならはダンスの後に』など12曲を透き通るような優しい歌声で熱唱し、訪れた方も一緒に口ずさみながら聞き入っていました。